

注記

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産を除く) 定額法

②無形固定資産(リース資産を除く) 定額法

③リース資産

a) 有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

b) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、平成27年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

該当なし

賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金

職員に対して将来支給する退職金のうち、一般社団法人宮城県民間社会福祉振興会退職共済制度掛金の法人負担分相当額を退職給付引当金に計上している。

役員退職慰労引当金

役員の退職功労金の支給に備えるため、法人の役員退職功労金支給規程に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

①商品・製品(夢の風拠点区分)

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は時価(再調達原価)が簿価よりも下落した場合には時価評価額による評価)

②仕掛品(夢の風拠点区分)

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は時価(再調達原価)が簿価よりも下落した場合には時価評価額による評価)

③原材料(夢の風拠点区分)

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は時価(再調達原価)が簿価よりも下落した場合には時価評価額による評価)

④貯蔵品（夢の風拠点区分）

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は時価（再調達原価）が簿価よりも下落した場合には時価評価額による評価）

⑤給食用材料

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は時価（再調達原価）が簿価よりも下落した場合には時価評価額による評価）

なお、販売目的で所有する棚卸資産のみ棚卸を行っている。

（5）その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理は税込処理によっており、本則課税を選択している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 法人で採用する退職給付制度

- （1）独立行政法人福祉医療機構が実施する退職共済制度
- （2）一般社団法人宮城県民間社会福祉振興会が実施する退職共済制度

4. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- （1）法人全体の計算書類(会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)
- （2）事業区分別内訳表(会計基準省令第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)
- （3）社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)
- （4）公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)
- （5）収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

（6）各拠点区分におけるサービス区分の内容

- ア 本部拠点（社会福祉事業）
 - 「法人本部」
- イ 七峰荘拠点（社会福祉事業）
 - 「七峰荘介護老人福祉施設」
 - 「七峰荘老人短期入所」
 - 「七峰荘障害短期入所」
 - 「大衡村デイサービスセンター通所介護」
 - 「ケアプランえいらく居宅介護支援」
 - 「はつらつ塾」

- ウ すずらん拠点（社会福祉事業）
 - 「すずらん認知症対応型共同生活介護」
 - 「すずらん認知症対応型通所介護」
 - 「ひだまりの丘通所介護」
- エ 郷和荘拠点（社会福祉事業）
 - 「郷和荘介護老人福祉施設」
 - 「郷和荘老人短期入所」
 - 「郷和荘障害短期入所」
 - 「大郷町デイサービスセンター通所介護」
 - 「永楽会おもいやりセンター居宅介護支援」
 - 「大郷町いきがい健康づくり」
- オ あさいな拠点（社会福祉事業）
 - 「あさいな施設入所支援」
 - 「あさいな生活介護」
 - 「あさいな障害短期入所」
 - 「あさいな相談支援」
 - 「あさいな障害児相談支援」
 - 「いこいの家たんぽぽ生活介護」
 - 「ホーム輝共同生活援助」
- カ 百才館拠点（社会福祉事業）
 - 「百才館地域密着型介護老人福祉施設」
 - 「百才館老人短期入所」
 - 「百才館老人障害短期入所」
 - 「百才館障害基準該当生活介護」
 - 「第2百才館地域密着型介護老人福祉施設」
 - 「第2百才館老人短期入所」
 - 「百才館通所介護」
 - 「百才館訪問介護」
 - 「百才館障害居宅介護」
 - 「百才館障害重度訪問介護」
 - 「百才館訪問入浴介護」
 - 「百才館居宅介護支援」
 - 「百才館配食」
 - 「なのはな高齢者認知症対応型共同生活介護」
 - 「なのはな知的障害者共同生活援助」
- キ 杜の風拠点（社会福祉事業）
 - 「杜の風介護老人福祉施設」
 - 「杜の風老人短期入所」
 - 「杜の風障害短期入所」
 - 「杜の風通所介護」

- 「杜の風居宅介護支援」
- 「そよかぜ認知症対応型共同生活介護」
- ク みどりの風拠点（社会福祉事業）
 - 「みどりの風軽費老人ホーム」
- ケ 虹の風拠点（社会福祉事業）
 - 「虹の風生活介護」
 - 「虹の風放課後等デイサービス」
- コ 夢の風拠点（社会福祉事業）
 - 「就労継続支援B型事業」
 - 「就労移行支援事業」
- サ おながわ拠点（社会福祉事業）
 - 「おながわ介護老人福祉施設」
 - 「おながわ老人短期入所」
 - 「おながわ障害短期入所」
 - 「おながわ障害基準該当生活介護」
 - 「おながわ通所介護」
 - 「ホームおながわ浜共同生活援助」
 - 「のどか認知症対応型共同生活介護」
- シ 百才館拠点（公益事業）
 - 「大崎市志田地域包括支援センター介護予防支援」
 - 「大崎市生きがいと健康づくり推進事業」
 - 「大崎市高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業」
 - 「大崎市出産育児ヘルプ養育支援事業」

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	52,090,290	0	0	52,090,290
建物	2,824,626,895	4,044,080	124,207,169	2,704,463,806
定期預金	72,141,870	4,437,600	44,437,600	32,141,870
投資有価証券	0	0	0	0
合計	2,948,859,055	8,481,680	168,644,769	2,788,695,966

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩
該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

- (1) 百才館拠点区分

建物（基本財産） 320,241,010円

計 320,241,010円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む） 22,500,000円

計 22,500,000円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	5,160,521,663	2,456,057,857	2,704,463,806
建物	182,482,927	103,676,201	78,806,726
構築物	133,345,363	122,049,690	11,295,673
機械装置	24,652,877	22,745,860	1,907,017
車輛運搬具	132,095,923	117,936,303	14,159,620
器具及び備品	342,753,150	300,852,716	41,900,434
有形リース	3,758,400	1,670,400	2,088,000
ソフトウェア	23,851,789	22,130,637	1,721,152
権利	1,692,600	1,406,320	286,280
合計	6,005,154,692	3,148,525,984	2,856,628,708

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

10. 関連当事者との取引の内容

該当なし

11. 重要な偶発債務

該当なし

12. 重要な後発事象

該当なし

13. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

- ・平成29年3月31日 居宅介護支援センターおながわ廃止に伴い、「おながわ居宅介護支援」サービス区分を削除している。
- ・平成29年4月14日 大衡村より介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスA事業受託に伴い「はつらつ塾」サービス区分を追加している。
- ・平成30年1月4日 七十七銀行吉岡支店より虹の風建設のために借入れていた設備資金借入金の残額

9,051,000円を一括返済している。

- ・平成30年1月4日 七十七銀行吉岡支店よりおながわ建設のために借入れていた設備資金借入金の残額132,047,000円を一括返済している。
- ・平成30年1月4日 七十七銀行吉岡支店よりなのはな建設のために借入れていた設備資金借入金の残額10,943,000円を一括返済している。
- ・平成30年1月4日 七十七銀行吉岡支店より第2百才館建設のため借入れていた設備資金借入金61,875,000円のうち、40,000,000円を一部返済している。
- ・平成29年12月27日 古川信用組合吉岡支店よりのどか建設のため借入れていた設備資金借入金の残額59,844,000円を一括返済している。

14. リース取引関係

(1) ファイナンス・リース取引

①所有権移転ファイナンス・リース取引

該当なし

②所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

- ・ (虹の風拠点) トヨタ レジアスエースウェルキャブ (リフト車) である。

(2) オペレーティング・リース取引

該当なし